

日本アスレティックトレーニング学会学術大会 抄録査読用ループリック

【実践報告用】

	1 不可	2 良	3 最良
緒言・目的	☐ 新規性・重要性が示されていない	☐ 新規性・重要性が示されている	☐ 新規性・重要性が根拠とともに適切に示されている
方法	☐ 対象についての客観的情報の記載が不十分である ☐ 方法（介入、測定、観察など）についての客観的情報の記載が不十分である	☐ 対象についての客観的情報が記載されている ☐ 方法（介入、測定、観察など）についての客観的情報が記載されている	☐ 対象についての客観的情報が具体的な数値と共に記載されている ☐ 方法（介入、測定、観察など）についての客観的情報が明瞭に記載されている
結果もしくは経過報告	☐ （介入・測定などの）結果がある場合、その提示法が妥当ではない(単位が明記されていないなど) ☐ （観察などの）経過報告の場合、その報告の記載内容が不十分である	☐ （介入・測定などの）結果がある場合、その提示法は適切であるが、介入および結果の報告が部分的にとどまっている ☐ （観察などの）経過報告の場合、その報告が記載されている	☐ （介入・測定などの）結果の提示法が適切であり介入および結果の全貌がわかる ☐ （観察などの）経過報告の場合、その報告が具体的かつ十分に記載されている
考察	☐ 考察が合理的ではない ☐ 結果から飛躍した考察がされている	☐ 考察が合理的である ☐ 結果から論理的に考察されている(考察は飛躍しすぎていない)	☐ 考察が合理的かつ論理的である ☐ アスレティックトレーニング学の発展につながるものである
その他	☐ 倫理面において適切な対応がとれていない ☐ 全体的に文書が不明瞭である	☐ 倫理面において適切な対応がとれている ☐ 文書が明瞭である	☐ 倫理委員会の承認が得られている ☐ 文書が明瞭である

5 項目 3 段階評価の 15 点満点

2(良)以上の項目について、チェック項目が 2 つある場合はその 2 つを満たしての評価となる。1(不可)は、いずれか一方でも該当すればその評価となる。